

平31

数 学  
問 題 用 紙

**1** 次の計算をなさい。

(1)  $-7 + 5$

(2)  $(-3) \times 4 - (-6) \times 4$

(3)  $\frac{2}{3} \div \left(-\frac{8}{3}\right) + \frac{1}{2}$

(4)  $4(-x + 3y) - 5(x + 2y)$

(5)  $\frac{14}{\sqrt{7}} + \sqrt{3} \times \sqrt{21}$

2 次の各問に答えなさい。

(1)  $x^2 + 5x - 36$  を因数分解しなさい。

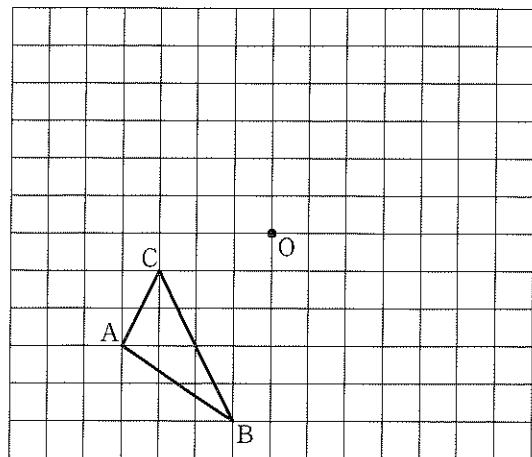
(2)  $x$  についての方程式  $3x - 4 = x - 2a$  の解が5であるとき、 $a$  の値を求めなさい。

(3) 2次方程式  $3x^2 + 3x - 1 = 0$  を解きなさい。

(4)  $n$  を自然数とするとき、 $4 < \sqrt{n} < 10$  をみたす  $n$  の値は何個あるか求めなさい。

(5) 右の図のように、 $\triangle ABC$ がある。

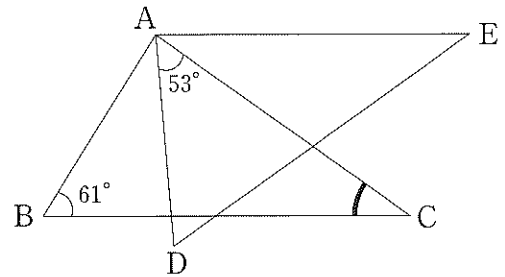
このとき、 $\triangle ABC$ を点Oを中心として  
点対称移動させた図形をかきなさい。



3 次の各問に答えなさい。

- (1) 右の図で、 $\triangle ABC \equiv \triangle ADE$ 、 $AE \parallel BC$ である。

このとき、 $\angle ACB$ の大きさを求めなさい。



- (2) 次の問題について考える。

問題

兄と弟が、40段ある階段の一番下にいる。兄と弟がじゃんけんをして、勝負がつくごとに、兄が勝ったら兄だけが2段上がり、弟が勝ったら弟だけが3段上がる。勝負が10回ついたとき、兄が弟より5段下にいた。

このとき、兄と弟の勝った回数をそれぞれ求めなさい。

この問題を解くために、兄が勝った回数を  $x$  回、弟が勝った回数を  $y$  回として、次のような連立方程式をつくった。  $\boxed{\text{ア}}$  には当てはまる数を、  $\boxed{\text{イ}}$  には当てはまる式をそれぞれ書きなさい。

$$\begin{cases} x + y = \boxed{\text{ア}} \\ \boxed{\text{イ}} = -5 \end{cases}$$

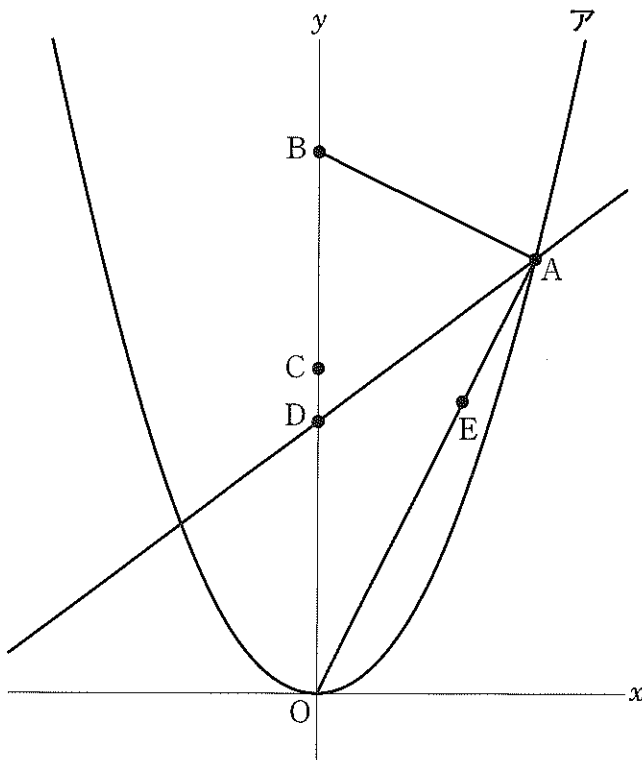
- (3) 袋の中に、赤玉3個、白玉2個が入っている。袋から玉を1個取り出し、それを袋にもどして、また1個取り出すとき、少なくとも1回は赤玉が出る確率を求めなさい。  
ただし、袋からどの玉が取り出されることも同様に確からしいとする。

4 下の図において、曲線アは関数  $y = \frac{1}{2}x^2$  のグラフである。曲線ア上の点で  $x$  座標が4である点をA、 $y$  軸上の点で  $y$  座標が10、6である点をそれぞれB、Cとし、線分OBの中点をDとする。また、線分OA上に点Eをとる。

このとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。ただし、Oは原点とする。

(1) 2点A、Dを通る直線の式を求めなさい。

(2) 四角形ABCEの面積が $\triangle OAB$ の面積の $\frac{1}{2}$ であるとき、点Eの座標を求めなさい。

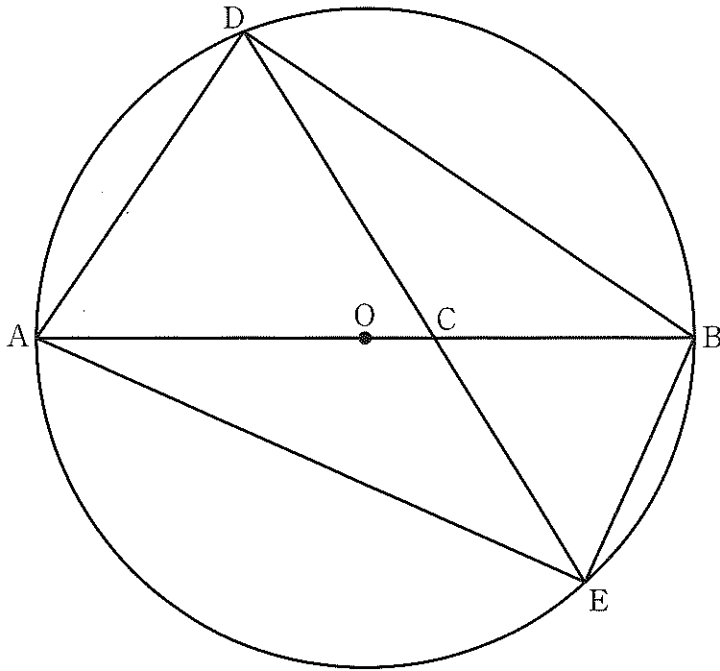


5 下の図のように、半径5 cmの円Oがあり、線分ABは円Oの直径である。線分AB上で  $AC : CB = 3 : 2$  となる点をCとする。円Oの周上に2点A, Bと異なる点Dをとり、円Oと直線CDとの交点のうち、点Dと異なる点をEとする。

このとき、次の(1), (2)の問いに答えなさい。

(1)  $\triangle ACD \sim \triangle ECB$  であることを証明しなさい。

(2)  $AB \perp DE$  のとき、線分ADの長さを求めなさい。



6 1辺が40 cmの立方体の水そうと、1つの面だけが赤色に塗られている直方体のおもりPがある。

図1は、おもりPを2つ縦に積み上げたものを水そうの底面に固定したものである。

図2は、図1の水そうに一定の割合で水を入れたとき、水を入れ始めてから  $x$  分後の水そうの底面から水面までの高さを  $y$  cm として、 $x$  と  $y$  の関係をグラフに表したものである。図3は、おもりPを2つ横に並べたものを水そうの底面に固定したものである。

ただし、直方体のおもりPは、赤色に塗られた面が上になるように用いるものとする。水そうの底面と水面は常に平行になっているものとし、水そうの厚さは考えないものとする。

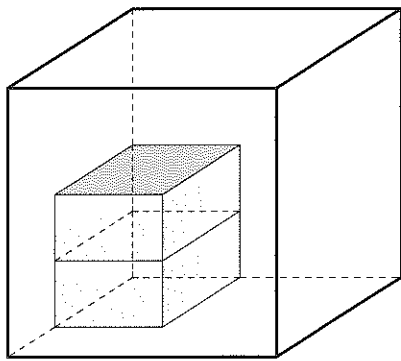


図1

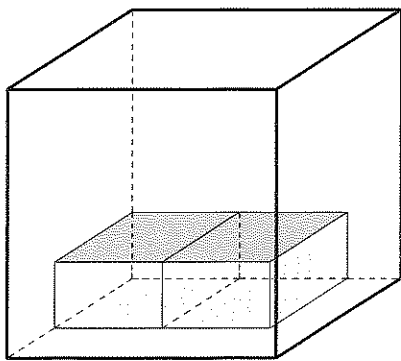


図3

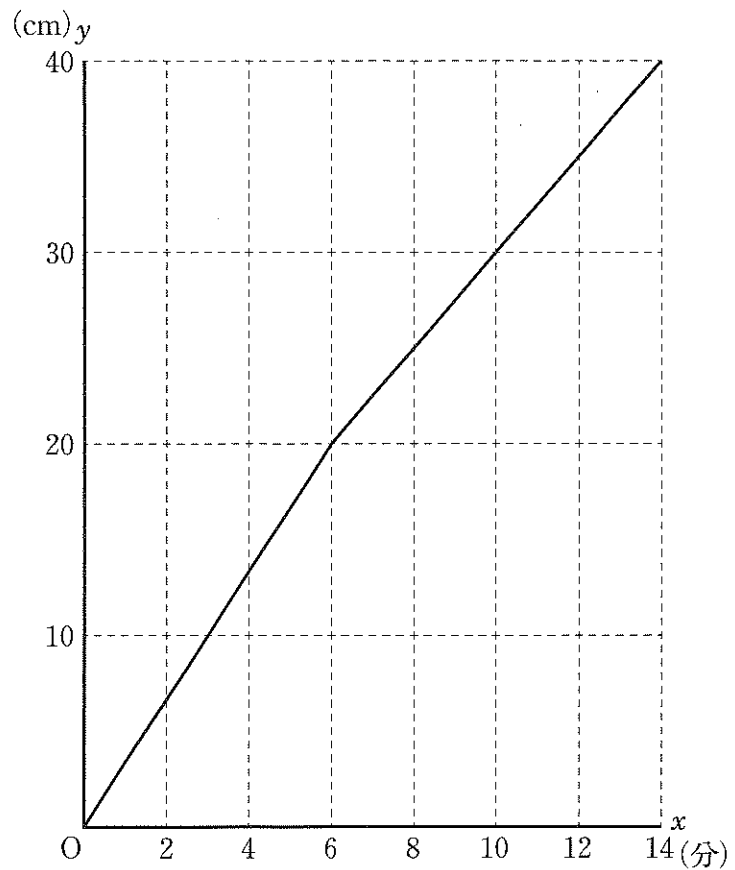


図2

このとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 下の文中の  ,  に当てはまる数をそれぞれ書きなさい。

図2のグラフにおいて、水を入れ始めて6分後から満水になるまでの間に、水そうの底面から水面までの高さは  cm 上がっているのです。水そうには、毎分   $\text{cm}^3$  で水を入れていたことがわかる。

- (2) 図3の水そうにおいて、一定の割合で水を入れたところ、水を入れ始めてから14分後に満水になった。このとき、水そうの底面から水面までの高さが8 cm になるのは、水を入れ始めてから何分後か求めなさい。



7 ある中学校のバスケットボール部の1年生11人と2年生15人が、フリースローを10回ずつ行った。下の表1は、1年生11人のボールの入った回数とその人数を表したものであり、表2は、1年生と2年生をあわせた26人のボールの入った回数とその人数を表したものである。ただし、 $x$ 、 $y$ にはそれぞれ人数が入る。

表1

ボールの入った回数(回)	人数(人)
0	0
1	1
2	1
3	1
4	3
5	0
6	2
7	2
8	0
9	1
10	0
合計	11

表2

ボールの入った回数(回)	人数(人)
0	0
1	1
2	1
3	2
4	4
5	$x$
6	6
7	3
8	$y$
9	3
10	0
合計	26

このとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

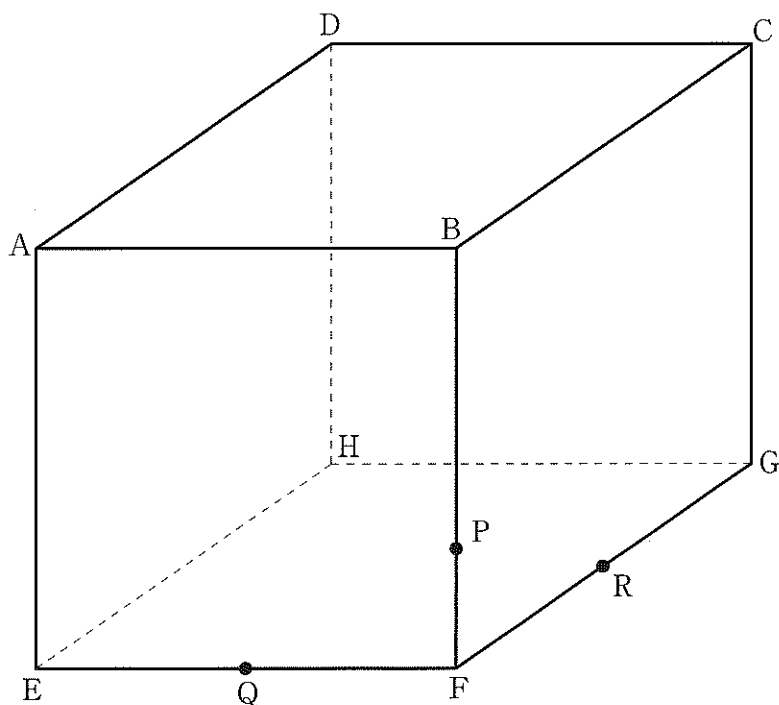
- (1) 表1において、ボールの入った回数の平均値を、小数第2位を四捨五入して求めなさい。また、ボールの入った回数の最頻値(モード)を求めなさい。
- (2) 2年生15人について、ボールの入った回数の中央値(メジアン)が6回であるとき、表2の  $x$  に当てはまる値をすべて求めなさい。

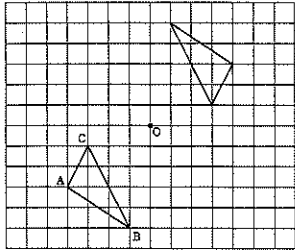
8 下の図のように、1辺の長さが4 cm の立方体 $ABCDEFGH$ がある。辺 $BF$ 上に点 $P$ をとり、辺 $EF$ 、 $FG$ の中点をそれぞれ $Q$ 、 $R$ とする。

このとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1)  $AP + PG$  の長さを最も短くしたとき、 $AP + PG$  の長さを求めなさい。

(2) 3点 $A$ 、 $Q$ 、 $R$ を通る平面でこの立方体を切ったとき、切り口の図形の面積を求めなさい。



問題	標準解答	配点	
1	(1) -2	4点×5	20点
	(2) 12		
	(3) $\frac{1}{4}$		
	(4) $-9x+2y$		
	(5) $5\sqrt{7}$		
2	(1) $(x+9)(x-4)$	4点×5	20点
	(2) $a = -3$		
	(3) $x = \frac{-3 \pm \sqrt{21}}{6}$		
	(4) 83 (個)		
	(5) 		
3	(1) 33 (度)	5点×3	15点
	(2) ア 10 イ $2x-3y$		
	(3) $\frac{21}{25}$		
4	(1) $y = \frac{3}{4}x + 5$	4点	9点
	(2) $(\frac{10}{3}, \frac{20}{3})$	5点	
5	(1) $\triangle ACD$ と $\triangle ECB$ で, 対頂角だから, $\angle ACD = \angle ECB$ ..... ① $\widehat{AE}$ に対する円周角だから, $\angle ADC = \angle EBC$ ..... ② ①, ② から, 2組の角がそれぞれが等しいので, $\triangle ACD \sim \triangle ECB$	4点	9点
	(2) $2\sqrt{15}$ (cm)	5点	
6	(1) ア 20 イ 4000	4点	9点
	(2) $\frac{8}{5}$ (分後)	5点	
7	(1) (平均値) 4.8 (回) (最頻値) 4 (回)	4点	9点
	(2) 2, 3, 4, 5	5点	
8	(1) $4\sqrt{5}$ (cm)	4点	9点
	(2) 18 (cm <sup>2</sup> )	5点	

問題	備考
2 (5)	図をかいたための線分は、不問とする。
5 (1)	証明の仕方が異なっても、論証の過程が正しければよい。